

第63回愛知県消防操法大会 第3分団出場

目標は優勝!



知立市消防団は、毎年開催される県消防操法大会で優勝1回、準優勝2回、また幾多の入賞をし、輝かしい成績を収めてきました。今回、市を代表し出場する第3分団の選手は、県大会優勝を目指し、連夜知立小学校を中心に訓練に励んでいます。また、他の消防団員も、訓練時のホース巻きを手伝うなど、知立市消防団が一丸となりバックアップしています。市民の安心・安全を守る消

防団員へのご支援をよろしくお願ひします。
 ▼問合せ 安心安全課 防災係 (☎(95)0160)
 ○愛知県消防操法大会
 ▼とき 7月28日(土) (予備日7月29日(日))
 ▼ところ 祖父江の森 多目的運動場(稲沢市祖父江町桜方六町17番地)

応援よろしくお願ひします!

「消防操法大会へのお願ひ」



消防団長
手島裕二

市民の皆様、また消防団員のご家族および消防団員を従業員にもつ事業主様には、日頃より消防団活動にご理解とご協力いただきありがとうございます。

さて、7月28日に開催される愛知県消防操法大会ポンプ車操法の

部において、市を代表し第3分団が出場します。知立小学校を中心に大会前日まで訓練を実施しております。近隣住民の皆様には、ご迷惑をおかけしておりますが、ご理解のほどよろしくお願ひします。訓練の見学は自由にできますので、ポンプ車による放水、選手の雄姿をぜひご覧ください。

私たち消防団員は、知立の街を火災や災害から守るため、緊急出動や災害対応などに備え、日々訓練に励んでおります。『自分たちの街は自分たちで守る!』との熱い思いをもつ消防団員に、ご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

「大会出場に向けての抱負」



第3分団長
尾村幸治

私たち第3分団は、知立市を代表して、第63回愛知県消防操法大会ポンプ車操法の部に出場します。日々訓練を行うなかで、大切にしていることが2つあります。

1つ目は、消防技術の向上です。知立市消防団は、市内で建物火災

が発生すると出動するのですが、最近では耐火構造の建物や防火への取組みが進んでおり、火災出動は以前と比べて減っています。しかし、災害はいつ発生するか分かりません。そのため、操法の訓練を通じて、分団員の消防技術の向上を図っています。

2つ目は、仲間との団結力です。第3分団は知立小および知立西小学区の一部を管轄エリアとしており、団員は20代から40代と幅広く所属しています。大会当日は、チームワークを十分に発揮したいと思ひます。皆様の応援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

第3分団員紹介



2番員 池田圭吾



1番員 横田侑典



指揮者 岩成勇希



4番員 渡邊義仁



3番員 柴田佳祐



補欠 鈴木清貴



補助員 村上浩一

第3分団は、市を代表し第63回愛知県消防操法大会のポンプ車操法の部に出場します。ポンプ車操法の部には県内より20チームが出場し、消防技術を競います。大会当日は、厳しい暑さの中での操法が予想されますが、訓練を通じて培った消防技術、そして第3分団のチームワークを披露し、市民の皆様へ優勝の報告ができるよう頑張ります。

消防団は、地域の安心・安全を守ることが使命だと考えております。市民の皆様の期待に応えられるよう、精一杯訓練に精進しますのでご支援のほどお願いいたします。

消防操法訓練の見所

1. まっすぐに伸びるホース

操法大会で使用されるホースは、1巻きの重さが7kg、長さ20m。そのホースを3本つないだ「1線」を用いて放水をします。ホースがねじれていたりすると水圧が低下し、消火に十分な放水ができないため、正確かつ素早くホースを延長する必要があります。



2. 正確な放水

放水時にホースの先端にかかる力は家庭用ホースの使用時と比べて100倍以上となります。そのため、放水による反動力が非常に強いものの、その力に負けることなく10m先の火点をどれだけ素早く倒すことができるかがポイントです。



3. 徹底した確認作業

団員は常に一つ一つの動作について確認をしながら動いています。火災現場では、どんな危険が潜んでいるかわかりません。命にかかわるため、ポンプ車の乗り降りやホースの結合といった操作も正確に作業をすることが求められています。



4. 規律

実際の火災現場では、素早く、正確かつ機敏な行動や作業の確認作業は不可欠です。消防操法では、規律ある行動と正確な動作を行っているかが重要なポイントになります。